

ダイアナの選択 (2008)

THE LIFE BEFORE HER EYES

メディア 映画

ジャンル ドラマ ミステリー

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 90分

初公開日 2009/03/14

公開情報 デスペラード=日活

映倫 PG-12

【キャッチコピー】

「どっちを殺す？」

彼女の答えが引き金になり、
新しい人生が始まった、はずだった。

【解説】

多感な高校時代に銃乱射事件に遭遇し、犯人に自分の命か親友の命かという過酷な選択を迫られたヒロインのその後の人生を見つめる衝撃のヒューマン・ミステリー。「砂と霧の家」のヴァディム・パールマン監督がローラ・カジシュキーの『春に葬られた光』を映画化。ヒロイン、ダイアナ役には「キル・ビル」のユマ・サーマンと「サーティーン あの頃欲しかった愛のこと」のエヴァン・レイチェル・ウッド。共演に「セイブド！」のエヴァ・アムリ。

郊外ののどかな町に暮らす高校生のだいアナ。退屈な毎日に不満を募らせ、反抗的な態度で周囲も手を焼く不良少女。そんな彼女はひよんなことから内気でまじめな少女モーリーンと仲良くなる。まるで対照的な2人だったが、いつしか深い友情で結ばれていく。そんなある日、学校の女子トイレにいた2人は銃乱射事件に巻き込まれる。2人の前に現われた犯人は銃口を向けながら“どちらかひとりを殺す、選べ”と残酷な選択を迫る――。それから15年。ダイアナは優しい夫とかわいい娘に囲まれ、幸せな家庭を築いていた。しかし、事件のトラウマは今もなおダイアナの心に深く暗い影を落としていたのだったが…。

【クレジット】

監督	ヴァディム・パールマン	Vadim Perelman
製作	ヴァディム・パールマン	Vadim Perelman
	エイメ・ペロンネ	Aimée Peyronnet
	アンソニー・カタガス	Anthony Katagas
製作総指揮	トッド・ワグナー	Todd Wagner
	マーク・キューバン	Mark Cuban
	マーク・バタン	Marc Butan
原作	ローラ・カジシュキー	Laura Kasischke
脚本	エミール・スターン	Emil Stern
撮影	パヴェウ・エデルマン	Pawel Edelman
プロダクションデザイン	マイア・ジェイヴァン	Maia Javan
衣装デザイン	ハラ・バーメット	Hala Bahmet

『春に葬られた光』(ソニーマガジンス刊)

編集	デヴィッド・バクスター	David Baxter	
音楽	ジェームズ・ホーナー	James Horner	
出演	ユマ・サーマン	Uma Thurman	ダイアナ・マク フィー
	エヴァン・レイチェル・ウッド	Evan Rachel Wood	ダイアナ・マク フィー (高校時代)
	エヴァ・アムリ	Eva Amurri	モーリーン
	オスカー・アイザック	Oscar Isaac	マーカス
	ガブリエル・ブレナン	Gabrielle Brennan	
	ブレット・カレン	Brett Cullen	
	ジャック・ギルピン	Jack Gilpin	
	モリー・プライス	Molly Price	
	ナタリー・ポールディング	Nathalie Paulding	
	ジョン・マガロ	John Magaro	
	マギー・レイシー	Maggie Lacey	
	アダム・チャンラー＝ベラット	Adam Chanler-Berat	